かながわ民進党
県政報告vol.14

約800億円の財源不足！県税の使い方を考える

神奈川県議会議員　石川ひろのり

神奈川県は、平成30年度の県財政について昨年9月時点で概ね800億円の財源不足が見込まれており、危機的な状況にあると発表しました。私は限られた県税の有効活用のため、事業の成果をしっかりと検証し効果の認められない事業は廃止や見直しをすべく、昨年も本会議や各委員会等で質疑を重ねてきました。

ある財団法人には20年間で約27億円もの補助金が拠出されていますが、県民還元は少なく毎年県税を投入し続けるメリットが不明瞭であることや、いわゆる婚活プロジェクトに2年間で3千万円をかけたものの成婚状況などの結果を把握していない、そもそもこのプロジェクトの達成目標が不明瞭であったことなど多くの指摘をしてきました。県財政が厳しい中、県税の使い道はしっかりと取捨選択する必要があります。私は、県民生活に深く関わる喫緊の課題である待機児童対策のための保育士確保、土砂災害危険区域の保全対策、信号機設置や道路標識等の整備、防犯カメラの設置補助などに対して、的確にスピード感をもって対応すべきであると主張し続けています。

また、歳入を増やす策も必要です。例えば外国人観光客誘致事業については、すべて県税で賄うのではなく、神奈川県に訪れる訪日観光客や国内観光客に対して一定程度の受益者負担を求め、多言語表示案内板の設置やWi—Fi環境整備等を進めるための財源確保も検討すべきと提案しています。

今後も神奈川県に、麻生区に住んで良かったと実感できる街づくりを皆さんと一緒に進めていくために、県税の使い道について提案をして参ります。ぜひ、皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。お待ちしております。

石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

石川ひろのり 事務所

県政へのご意見・ご要望はこちらまで

麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
☎044・455・6611
FAX044・455・6614
http://www.hiro-ishikawa.jp